

【公益財団法人 中山隼雄科学技術文化財団】

2027 年度 助成研究募集要領

公益財団法人 中山隼雄科学技術文化財団は「人間と遊び」という視点に立った科学技術の研究助成をすることを主な目的として、1992 年に設立され 2011 年に公益財団の認定を受けた法人です。この視点に立脚した研究開発等を対象に、設立以来途切れることなく、毎年広く研究助成を展開してまいりました。

本年度は、下記の要領で研究助成の対象者を募集いたします。多数の研究者のご応募をお待ちしております。

記

1. 研究助成の対象分野

以下の 2 分野を助成対象とします。

(1) 助成研究 A=ゲームの分野の研究

A-① 重点研究

A-② 基礎的・基盤的研究

(2) 助成研究 B=人間と遊びに関する研究

※ 本件助成は、広く社会一般の「公益」に資する研究等に対して助成を行うものです。従って、特定の業界や愛好者団体の「共益」をめざす研究は助成の対象になりません。

※ 募集に際しては、実務的な研究成果を期待し、かつ、複数人で行うときは異分野間の共同研究を推奨します。

2. 研究課題

(1) 助成研究 A=ゲームの分野の研究に対する助成

A-① 重点研究テーマ：DEIB を意識した世界中の人が安心して自分らしくいられるゲーム 2

【重点研究テーマ 設定背景】

本財団では、Diversity（多様性）、Equity（公平性）、Inclusion（包括性）、Belonging（帰属感意識）の理念（略して DEIB）を体現するゲームの研究・提案・開発を引き続き募集します。

「多様性」という言葉を聞いたとき、思い浮かべる人々の範囲に、本当にあらゆる

る人が含まれているでしょうか。多数派を前提として設計された社会の中で、誰もが同じスタートラインに立てているでしょうか。目に見えない障壁によって参加を阻まれている人はいないでしょうか。そして、一人ひとりが尊重され、安心してその場に存在できる「Belonging（帰属感）」とはどのような状態なのでしょう。

人は誰も、ある課題については意識的に配慮できていても、それ以外の場面では、無意識のうちに自分の「当たり前」を基準に考えてしまうことがあります。例えば、ゲームの内容やルールには配慮していても、参加の呼びかけ方、説明の仕方、使用する機器やプラットフォームなどに、別の障壁が残されているかもしれません。DEIBの実現には、こうした「想定の外にある課題」に気づき、配慮を一部の場面に限定せず、参加の前後を含む体験全体へ広げていく視点が必要です。

DEIBは、単に多様な人々が存在することを意味するものではありません。異なる背景や能力、価値観を持つ人々が、公平な機会を得て参加し、互いに尊重されながら、自分らしく居場所を感じられる社会やコミュニティを実現するための考え方です。

本募集では、このDEIBの理念を体現するゲームの提案、関連要素技術の研究・開発を引き続き募集します。

本財団が特に期待しているのは、DEIBを単なるテーマやストーリーとして扱う提案ではありません。例えば、多様なキャラクターが登場するだけのゲームや、「多様性の大切さ」をメッセージとして伝えるだけのゲームではなく、ゲームのルール、システム、相互作用、勝利条件、プレイヤー体験そのもののの中にDEIBの考え方が組み込まれている提案を歓迎します。

さらに、DEIBへの配慮は、ゲームをプレイしている時間だけで完結するものではありません。誰もが無理なく意思を表明し、安心して参加できる設計が求められます。ゲーム本体だけでなく、それを取り巻く環境や手続、プラットフォームまで含めて問い直す提案を期待します。

また、現実社会の課題をそのまま再現するだけでなく、ゲームだからこそ可能な新しい社会モデルやコミュニケーションの形を提案することも歓迎します。生成AIをはじめとする新しい技術を活用し、個々のプレイヤーに応じた体験や、多様な価値観が共存する仕組みを設計する試みも対象となります。ただし、新しい技術そのものが、特定の人を排除する新たな障壁になっていないかを検討する視点も重要です。

皆さんには、「世界中の誰もが安心して、自分らしく参加できるとはどういうことか」、「公平とは何か」、「包摂とは何か」、「人はどのようなときに居場所を感じるのか」といった根源的な問いに向き合いながら、「誰を想定して設計しているのか」「誰がその想定からこぼれ落ちているのか」「自分たちの『当たり前』がどこに潜んでいるのか」を問い直し、ゲームならではの表現や体験設計、そしてそれらの根幹をなす技術を自由な発想で提案していただきたいと考えています。

DEIB を語るゲームではなく、DEIB をプレイによって体験し、実践し、再考できるゲームとそのために必要な技術。さらに、ゲームの内側だけでなく、その入口から評価・振り返りまでを通して、誰もが参加できる環境と技術。そのような革新的なアイデアとの出会いを期待しています。

A-② 基礎的・基盤的研究

- ・ゲームの本質に関する研究
- ・ゲームと人間に関する研究
- ・ゲームと社会に関する研究
- ・ゲームと技術に関する研究

(2) 助成研究 B＝「人間と遊び」に関する研究に対する助成

- ・遊びの本質及び影響に関する研究
- ・遊びの社会的諸活動への応用に関する研究
- ・助成研究 A 又は B のいずれの課題にも属さない『人間と遊び』の研究

3. 募集要件

(1) 応募資格

国内の大学院、大学、短大、高専、専門学校及び非営利の研究機関等に所属する研究者又はこれらの機関に所属する研究者を代表者とする共同研究グループ

※ 研究者には大学院後期博士課程在籍者を含みます。但し、指導教員の推薦が必要です。

(2) 研究助成額

①助成研究 A：総額 2,200 万円（1 件当たり 200 万円）以内

②助成研究 B：総額 400 万円（1 件当たり 100 万円）以内

※ 当財団の規定上、助成金を管理金等の名目により助成研究者の所属する機関に間接経費として納付することは認めていません。所属機関が管理金の納付を条件としてのみ本助成を受けられる場合（規定として定められているなど）はご相談ください。

(3) 研究期間

2027 年 4 月 1 日～2028 年 3 月末日

※ 研究期間は 1 年とします。

(4) ヒトを対象とする研究について

採択された際には、所属機関の倫理審査を受けること及び採択された研究の成果報告の際には、倫理審査を受けた旨を明記することを誓約していただきます。

(5) 生成 A I を利用することについて

①生成 A I を研究、または研究成果報告書作成に使用することは可とします。ただし、どの程度どここの箇所において使用したのか必ず申告することを条件とします。

②生成 A I を使用しているように見受けられるにもかかわらず、使用した旨の申告がない場合は審査の中で可否を判断します。

③たとえ研究者本人が意図せずとも、著作権法に触れた場合、当財団は責任を負いません。著作権については研究者が管理することを前提とします。

4. 応募方法等

(1) 応募期間

2026 年 9 月 1 日～2026 年 10 月 15 日 17 時（応募ページが閉鎖されます）

(2) 応募方法

当財団ウェブサイト（URL は末尾「9. 当財団への連絡」に記載してあります）の助成研究応募ページ（以下、応募ページ）にアクセスし、フォームに必要事項を入力、アップロードしてください。

(3) 応募書類等

応募ページからアップロードしてください。

①研究計画書（指定様式）

応募ページから指定様式をダウンロードし、作成してください。

②研究計画プレゼンテーションの動画（以下プレゼン動画）

1 分以内（厳守）のプレゼン動画を YouTube に限定公開動画設定でアップし、その URL を応募ページの該当欄に入力してください。

③研究実績

これまでの研究実績については研究実績及びプロフィールを記載した URL を応募ページ該当欄に入力してください。当該 URL がない場合は、書面（書式任意）にてご用意いただき、応募ページ該当欄からアップロードし

てください。

5. 審査・採択

(1) 審査方法

学識経験者（非公開）である選考委員が審査して採択者を決定します。

①事前審査：各委員が応募書類、プレゼン動画等を閲覧して行います。

②本審査：事前審査結果を基に、委員全員の会議形式により行います。

(2) 最終決定及び発表

選考委員会の答申を受け、理事会にて2027年1月中旬に採択者を決議し、同月中に結果を当財団ウェブサイト上で発表し、採択者にはメールで連絡します。

※採択にあたり、助成金額の減額調整を行うことがあります。

(3) 助成金の交付および利用

①助成金の交付

「研究助成条件同意書」の提出等、当財団の定める手続きの完了を条件として、2027年3月もしくは4月に決定した全額を交付します。

②助成金の利用

「研究計画書」に記載された助成金の使用計画から助成金の3割を超えて金額変更する場合は手続きが必要です。手続きなく使用計画から変更した場合は返還を求めることがあります。なお、変更の手続きは事務局へ申し出てください。

6. 助成を受けた研究(代表)者の義務

(1) 研究成果報告書等の提出

研究(代表)者は、研究終了年の5月末日までに、当財団の指定様式により研究成果報告書、研究成果報告書概要及び会計報告書等を提出してください。

(2) 研究成果発表会への出席及び発表

研究(代表)者は、研究終了年の11月（予定）に当財団が開催する「研究成果発表会」に出席し、指定された方法で研究成果を発表してください。

7. ステップアップ助成について

研究終了後、採択された研究課題において、さらなる研究の拡大を希望する場合は、ステップアップ助成を申し込むことができます。

審査の結果、採択された場合は追加の助成金を提供します。詳細は別途通知します。

	種別/対象	条件/目的	助成内容
1	追加助成	助成 A で採択された研究課題でさらなる研究を希望するもの	助成研究採択時と同様の条件
2	国際助成	助成 A で採択された研究課題の成果を外国で開催される学会で発表するもの（国内学会は対象外）	学会参加費、渡航費、宿泊費を助成（飲食代は不可）
3	ワークショップ助成	助成 A・B で採択された研究課題の延長としてワークショップ開催を希望するもの	ワークショップ開催にかかる費用（備品費・飲食代は不可）

8. 個人情報の取り扱いについて

申込に係る個人情報は、審査のために必要な範囲で特定の関係者に開示するほかは公表しません。但し、採択された研究代表者につきましては、当財団ウェブサイト上で氏名、所属機関及び役職を公表します。

9. 問い合わせ

名称：公益財団法人 中山隼雄科学技術文化財団 事務局

住所：〒104-0061 東京都中央区銀座三丁目 15 番 8 号 銀座プラザビル 3 階

電話：03-6226-6161 HP：<https://www.nakayama-zaidan.or.jp/>

問い合わせは右記 QR コードよりお願いします

